

『起業家、中小・ベンチャー企業経営者のための資金調達、金融』最新レポート

資金調達サポート会 代表 吉田 学 発行

ローカルベンチマーク(ロカベン)とは？

ローカルベンチマークとは、企業の経営状態の把握、いわゆる「健康診断」を行うツール(エクセルシート)です。企業の経営者等や金融機関・支援機関等が、企業の状態を把握し、同じ目線で対話するための基本的な枠組みであり、事業性評価の「入口」として活用されることが期待されるものとされています。具体的には、「財務情報」(6つの指標)と「非財務情報」(4つの視点)に関する各データを入力します。その結果、企業の経営状態を把握することができるようになり、経営状態の変化を早く発見することによって、早期の対話や支援につなげていくもの、とされています。

「6つの指標」及び「4つの視点」とは？

これから説明する「6つの指標」は、企業の成長性や持続性を評価する上で、事業から生み出されるCFを把握することがその根幹にあると想像されます。「入力シート」に必要な情報(BS/PL)を入力・選択すると、以下のように、自動的に6つの指標が計算され、業種平均との乖離を把握でき、さらに点数が算出されます。

指標	2016年3月		
	算出結果	業社点数	業種基準値
①売上増加率	10.4%	4	2.3%
②営業利益率	0.7%	3	1.4%
③労働生産性	913(千円)	3	541(千円)
④EBITDA有利子負債倍率	2.7(倍)	3	4.5(倍)
⑤営業運転資本回転期間	1.2(ヶ月)	3	1.6(ヶ月)
⑥自己資本比率	35.4%	3	26.7%
総合評価点		19	B

点数付与の基準ですが、帝国データバンクが保有する10万社の財務指標がベースとなっており、各指標の中央値を基準値としてポイント化しています(1点~5点)。

それぞれの指標の計算式は次の通りです。

<売上増加率> “売上持続性”

・計算式：(売上高/前年度売上高) - 1

<営業利益率> “収益性”

・計算式：営業利益/売上高

<労働生産性> “生産性”

・計算式：営業利益/従業員数

<EBITDA有利子負債倍率> “健全性”

・計算式：(借入金-現預金)/(営業利益+減価償却費)

<営業運転資本回転期間> “効率性”

・計算式：(売上債権+棚卸資産-買入債務)/月商

<自己資本比率> “安全性”

・計算式：純資産/総資産

これら「6つの指標」は過去情報であり、これだけで将来性などを評価するのは困難です。そのためには、金融機関などは企業との対話などを通じて非財務情報「4つの視点」を整理することが重要になります。具体的には、「①経営者、②関係者、③事業、④内部管理体制」の4つです。これらの内容をエクセルシートに記入します。

<イメージ>

経営者に関する情報 経営者へのインタビュー 経営者へのインタビュー 経営者へのインタビュー	関係者に関する情報 関係者へのインタビュー 関係者へのインタビュー 関係者へのインタビュー
事業に関する情報 事業の概要 事業の概要 事業の概要	内部管理体制に関する情報 内部管理体制の概要 内部管理体制の概要 内部管理体制の概要
その他に関する情報 その他に関する情報 その他に関する情報 その他に関する情報	その他に関する情報 その他に関する情報 その他に関する情報 その他に関する情報

また、4つの視点以外にも非財務情報として「商流・業務フロー」についても記入します。

自社の「ロカベン」を作成しよう！

企業様におかれましては、是非、「健康診断ツール」として、自社のロカベンを作成してみましよう。また、ロカベンは中小企業施策にも関係しています。たとえば、経営力向上計画、早期経営改善計画、労働移動支援助成金、事業承継ガイドラインなどにおいてもロカベンを推奨しています。できれば、顧問税理士や金融機関(メインバンク)と相談・情報共有しながら作成することをお勧めいたします！

・ロカベン詳細：<http://bit.ly/2lx1WTW>